

進路だより



福島県立いわき総合高等学校
進路指導部
平成30年10月10日(水)
第10号発行

受験シーズンの到来!

☆推薦入試が始まります!

やや暑さが感じられる日があるものの季節はすっかり秋めいてきました。そして就職試験に続き、上級学校の推薦入試のシーズンを迎えます。現在のところ、第1回の選考会では61名、第2回の選考会では33名の生徒の推薦願が提出されています。入学願書、志願理由書、面接の練習、小論文の添削指導等、放課後教室に残って本格的に取り組む様子が多々見られるようになりました。生徒一人一人が準備に大変なのは当然ですが、この時期は担任の先生方も非常に多忙になります。そういう意味では、この10月から12月が進学希望者の天王山。生徒も先生も一致団結して乗り切りましょう。そして全員が目標達成できることを祈っています。

○推薦入試及びAO入試の志望状況

	推薦入試				AO入試		校種別合計
	指定校推薦		公募制推薦		男子	女子	
	男子	女子	男子	女子			
4年制大学	17	15	5	2	15	16	70
短期大学	1	17			1	1	20
看護学校		2	3	6			11
専門学校	6	13		7	10	34	70
計	24	47	8	15	26	51	
受験種別合計	71		23		77		171

校内の選考会議を通過して合格したかのように勘違いしている3年次生が若干見られます。指定校推薦でも不合格となる場合もありますので、気を抜かずしっかりと取り組んでください。また、指定校・公募制問わず、推薦されているという強い自覚を持って欲しいと思います。

○進学希望者が取り組むこと

①面接練習

面接といっても、集団面接・個人面接・集団討論等、学校毎に違いがありますので予め確認することが必要です。質問事項については、過去に同じ学校の受験者がいれば受験報告書綴に保管してありますので、そちらで調べて下さい。面接の質問事項で最も大切なのは何と言っても志望動機です。どうしてこの学校なのか、他校とは何が違うのか、そこで何を学びたいのか、卒業後の進路、といったことが大切です。そして、どのような質問に対しても対応できるようシミュレーションしておいてください(黙りこんでしまうのが一番ダメ)。とにかく、練習のし過ぎということはありませんので、できるだけ回数はこなした方がよいと思います。報告書以外の質問例は進路の手引き本編p26~28を参考にして下さい。



10月23,24,30,31日に模擬面接を実施します。必ず練習してから模擬面接に臨んでください。

②志願理由書の作成

学校によっては、志願理由書を書いたり、入学願書の裏に志望動機を記入したりする場合があります。また、面接においても志願理由は質問されますので、内容的には同じであっても、表現の仕方を変えるなどして、志願理由書の棒読みにならないようにしましょう。尚、志願理由書の内容は、担任の先生が皆さんの推薦書を書く際にしっかりと知っておく必要がありますので、必ず担任の先生に見てもらってください。

③小論文添削指導

推薦入試やAO入試に挑戦している人たちの多くが試験に小論文を課されています。すでに過去問を利用して添削指導を受けている人もいますが、思うように書けなくて苦しんでいるのではないのでしょうか。各指導担当の先生から伺っているとは思いますが、どのようなテーマであっても自分で決めた1つの型に当てはめて書けるようにするのがコツです。そして、試験日までの間に最低でも4~5つの作品を完成させることを目指してください。いずれにしても文章を書くことに抵抗が無くなるまで練習することが大切です。



小論文を書く力は、よく「生きる力」と言われます。自分の考えを文章にして論じる訳ですからまさにその通りだと思います。受験対策の一環ではありますが、指導を受けながら「生きる力」もしっかりと身に付けてほしいと思っています。

☆1, 2年次生のみなさん&3年次生へ

この時の3年次生の担任の先生にとって最も大変な仕事は「推薦書の作成」です。3年間の皆さんの生活を振り返って、長所や実績をまとめ上げるのです。どれだけ大変か想像できますか?それがクラスで20人もいたら、どれほど大変か……。ですから皆さんは担任の先生が推薦書を書きやすいように、1, 2年生のうちから、部活動の実績や取得した検定名、あるいは参加したボランティア活動等を正確に記録し、伝えておいてください。先生方は普段厳しい事を言っている、皆さんが合格できるように一生懸命考えて作成しています。推薦書の内容に見合った人物でいてください。「自分は就職だから、AO入試だから関係ない」というのは大間違いです。受験に必要な「調査書の作成」も同様に大変なのです。担任の先生に感謝の気持ちを伝えましょう。

○就職希望者の内定状況(10月9日現在)

内定した職種	県内				県外	
	市内		市外		男子	女子
	男子	女子	男子	女子		
製造業(製造・整備士・建築・土木)	7	8				
介護・医療(歯科助手・看護助手)		2				
事務(事務・営業)		9				
サービス業(販売・理美容・調理・ホテル・警備)	1	11				2
その他(上記以外)		1				1
合計	8	31				3

就職希望者の内定率は90%であり、昨年の同時期と比べ、若干高い状況です。難関企業や競争倍率の高い企業の内定を勝ち得たという点で質的には昨年以上であるとも言えます。全体的には好結果を得ましたが、多くの生徒が企業選びに悩みました。その中には、事前に見学した企業(職種)ではない企業(職種)を受験するというケースも何人か見られました。就職希望の人は1, 2年生のうちから、どんな仕事をしたいのか、どんな職種に就きたいのかをしっかりと考えて、ぶれない方向性を持ってほしいと思います。尚、内定した企業については次号でお知らせします。

○進路が内定したみなさんへ○

会社へお礼状は出しましたか? お世話になった先生に報告しましたか?これから受験する人たちの前で遊びや自動車学校の話をするのではなく、面接練習などのサポートをしてあげられると素敵です!卒業までの間、思いやりのある行動をとってほしいものです。また、内定したからといって勉強の手を抜かないように。入社前、入学前に「成績証明書」の提出を求められる場合もあります。今はあくまでも「内定」だということを忘れずに。



★次号の予告(12月)

進学希望者の決定状況と看護学校等を一般入試で勝負する人たちへのワンポイントアドバイス号になります。